

がん患者・家族へのケアに関する研究

氏 名 飯岡 由紀子 教授

所 属 大学院研究科

U R L <http://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=263ii>

研究分野 がん看護（医療）、慢性期看護、看護教育、更年期医療、チーム医療（多職種連携）

キーワード がん患者ケア、更年期、緩和ケア、多職種連携、チーム医療、看護

■ 研究シーズの概要

がん患者・家族にとってその人らしい生活がおくれることを支援するための研究に取り組んでいます。

- **がん医療に関連した研究**
がん治療を受ける患者・家族へのケアに関する研究、がんとともに生きる人を支えるケアやシステムに関する研究
人生の最期をより良くするためのケアやシステムに関する研究など
- **チーム医療に関連した研究**
多職種の連携・協働のあり方や研修に関する研究、チームビルディングに関する研究など
- **女性のトータルケアに関連した研究**
中年期女性の心身の健康をよりよくすることに関する研究など

■ 共同・受託研究のご提案

2人に一人はがんになり、早期発見と早期治療によりがんは治る時代になりました。がんになる前からの備えや、がんとともに生きるための支援も充実してきています。以下に示したテーマについて共に取り組みたいと考えています。

がん医療に関した技術開発、啓発活動、プログラム開発など

- 終末期をその人らしく暮らすための支援とは
- がん治療と生活とを両立するためには
- がん患者と医療者をつなぐオンライン医療

チームづくり、組織づくりはダイナミックで複雑で、奥深いものです。

チーム医療や多職種連携に関する研究

- チームビルディングに関する研究
- 医療専門職の多職種連携に関する研究

更年期は女性にとって重要なターニングポイントです。心と体のメンテナンスをしながら、これからの生き方を考える時期です。

中年期以降の人生の過ごし方に関する研究

- 女性のヘルスケアをサポートするプログラム開発
- 中年期以降の過ごし方の啓発活動に関する研究

■ 研究テーマ

- 日本のがん看護外来の評価に関する研究
- 主体性を育む教育プログラムの開発研究
- ホルモン治療中の乳がん患者へのセルフケア支援介入研究
- エンド・オブ・ライフケアの実践力を高めるためのリフレクション研究
- 多職種連携に必要な能力向上プログラム研究
- がんの親をもつ子どもへのサポートに関する研究 など

■ 特定講座のご提案

- がん医療に関すること
- 女性へのヘルスケアに関すること
- チーム構築に関すること

